

# フレッシュアートぷい液<sup>®</sup>一液くん<sup>®</sup>説明書

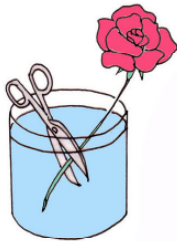
特許取得商品(特許第 3813165 号)・国際特許出願済商品  
フレッシュアートぷい液(商標登録第 4778079 号)・一液くん(商標登録第 4900252 号)

“一液くん”は脱水(脱色)と保存(着色も含む)が同時進行するため、花を浸して引き上げ、乾燥させるだけで簡単に保存花が出来るプリザーブドフラワー作成液です。“一液くん”には薔薇用・薬物用・洋蘭&草花と3種類あり、加工する花や葉に適した液で作成してください。“簡易マニュアル”をご参照の上、“詳しい作り方”をよく読んで、より完成度の高いプリザーブドフラワーの作成を目指しましょう!

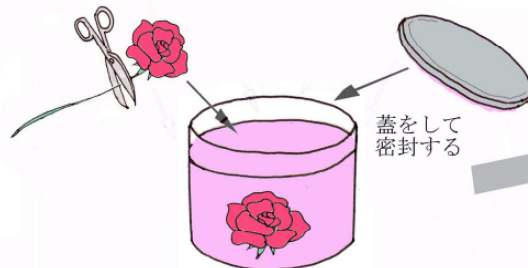
(注:ホームページの写真入り作成の手順もご参照ください)

## \*\*\*\*\* 簡易マニュアル \*\*\*\*\*

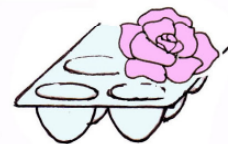
① 花の茎を水の中で切って  
しっかり水揚げします。



② 花茎1~2cmに切って“一液くん”に浸します。  
花が浮かないようにして、容器を密閉します。  
5~7日以上浸します。  
(注:長く浸すほど完成度が高まります。)



③ 壊れやすいので注意  
しながら取り出し、  
乾燥すれば完成です。



乾燥するにつれて  
ソフトになり、  
色も落ち着きます。

無色の“一液くん”を使用する場合は、  
染料を加えて好みの色に着色します。

※より完成度の高いプリザーブドフラワーを作成する為に、下記の“詳しい作り方”を必ずお読みください。

## \*\*\*\*\* 各液の加工に適した花や葉 \*\*\*\*\*

薔薇用《1回目の液》……薔薇・カーネーション・ガーベラなど

〃 《2回目の液》……かすみ草・キノブラン・スターチス・ブルーファンタジーなど

薬物用《1回目の液》……カラー・アスパラペラ・アスパラ(ミリオンアスパラ)・天文草・ヘデラ・アイビー・  
レザーファン・ベアグラスなどの薬物、  
ヒペリカム・ブルーベリー・サンキライ・南天などの実物

〃 《2回目の液》……紫陽花・薔薇の葉など水分の少ない薬物・小花など

洋蘭&草花《1回目の液》……デンファレ・胡蝶蘭・シンビジウム・オンシジウムなどの蘭類、

〃 《2回目の液》……トルコ桔梗・チューリップ・パンジー・スイートピー・梅・ポリアンサ・ベルフラ  
ワーなどの草花

花びらの少ない花・花びらの薄い草花・ドライになりやすい花など2回目の液で、ドライになりやすい花などは3回目の液でも作成可能ですが、2回目以降の加工に関してはご自分の工夫と責任で作成願います。

使用済みの残液に2~5割程度の“一液くん”を追加して作ることもできます。また、残液は処分する前に、長く(1~3ヶ月)浸すことによっても作成可能な場合があります。お試し下さい。

## \*\*\*\*\* 詳しい作り方 \*\*\*\*\*

- 1、加工する花や葉は新鮮なものをご用意ください。作成前に必ず水切りをして十分な水揚げを行います。蘭類は、花を浮かべるようにして水に30分ほど浸すと完成度が高まります。
- 2、薔薇のガクが反り返っている場合、次の①②③いずれかの方法でガクを花びらに添わせるようにします。
  - ①ガクを5mm位残して切り落とす。
  - ②虫ピンなどで刺して花びらに添わせる。(乾燥するまで虫ピンはそのままにしておく。)
  - ③ガクを花びらに添わせるようにして、裸ワイヤー28番でグルグル2回ほど巻いて押さえる。ワイヤーの両端はガクの上から挿して固定する。(乾燥するまでワイヤーはそのままにしておく。)
- 3、花は茎を約1~2cmに、葉などは好みの長さに切り、密封容器に入れて花や葉が十分に浸かる量の“一液くん”で浸け込みます。花や葉が浮かばないように台所用の水きりネットやアルミホイルなどを広げてかぶせ、蓋をします。ミニローズや小花などは台所用の水きりネットに入れて浸すと引き上げるときに便利です。

無色の“一液くん”で加工する時は、オリジナル染料“京の華化粧”を加えて混ぜ、好みの色を作って花や葉を浸け込みます。

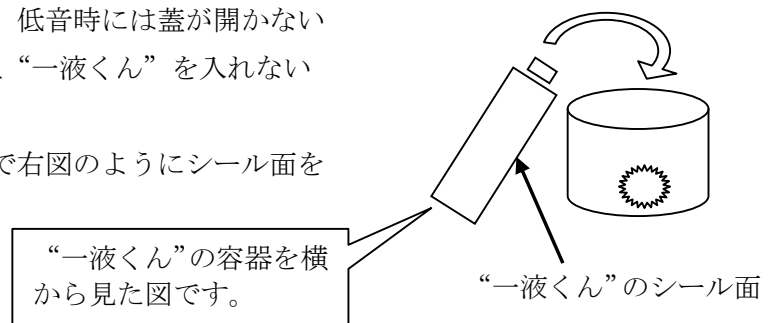
“一液くん”100mlで加工できる花の量は、薔薇用・薬物用で約12~15g、洋蘭&草花で約7~12gが目安です。(花や葉により大きさや水分量が異なるため、本(枚)数でなくグラム数で記載しています)

注① ギューギューに詰めて浸すと花の形が崩れる場合があります。

ゆったりと浸けるようにしましょう。

注② 高温時には膨張して容器が破損したり、低音時には蓋が開かない場合がありますので、容器の8分目以上“一液くん”を入れないように注意しましょう。

注③ 一液くんを注ぐ時は、こぼれやすいので右図のようにシール面を傾けて、ゆっくり注ぎましょう。



- 4、浸け込む時間は、薔薇やカーネーションなどの蘭類以外の花は5~7日以上、アスパラペラ・アスパラ(ミリオンアスパラ)・アジアンタムなどの柔らかい葉類は約15日以上、ヘデラ・レモンリーフ・ユーカリ・ベアグラスなどの硬めの葉類は約20日以上、蘭類は約15日以上浸します。長く浸け過ぎて花が駄目になることはありません。かえって長く浸けることで完成度は高まります。特に、気温が低い冬季や寒冷地では長く浸け込むようにしましょう。
- 5、浸けた花や葉がピーンと張り硬くなったら、花や葉を傷めないように丁寧に割り箸などで引き上げます。(割り箸の先を綿花などで包み、輪ゴムで固定して掴むと便利です)  
軽く液を振り落とし、キッチンペーパーなどの柔らかい紙に、形が崩れないように花を上に向けて置きます。(花の中心部に液が集まることで花茎の完成度が良くなります。少量の残液をスプーンなどでかける方法もあります) 引き上げ時、テカリやベタツキ感のある場合がありますが、乾燥するにつれ空気中の水分を採りこみ、日増しに色も落ち着きソフトな仕上がりになります。
- 6、ある程度液が切れたら形を整え、卵の空容器などを利用して直射日光の当たらない日陰で乾燥させます。花びらの間に小さくちぎったティッシュペーパーや綿花を挟み、形を整えて乾燥させましょう。構造上加工に不向きなガーベラやピンポンマムなど、花びらが散りやすいレースフラワーやスカビオサなど、加工中に花びらが散ってしまった場合などは“アートぷりグルー”で接着加工しましょう。(使用法はHPをご参照下さい)

自然乾燥の場合は、アルコールが気化するため屋外がお勧めです。屋内で乾燥させる時は、必ず十分な換気をしてください。

強制乾燥の場合は、少し乾かしてから乾燥機等に入れ乾燥させます。急激に乾燥させると花びらなどが割れる場合がありますので、「弱」などのモードで乾燥させましょう。

7、保存花は湿気および日光に弱いので、湿気の少ない場所を選んで保管ください。

### \*\*\*\*\* 着色の楽しみ方 \*\*\*\*\*

《複数輪をグラデーションに着色する方法》 無色の“一液くん”にオリジナル染料“京の華化粧”を、イメージする一番淡い色になるように加え、加工する花をすべて浸けます。浸け込みが終わったら数輪を引き上げ、染料を加えます。数時間から1日浸した後、更に数輪引き上げ、染料を加えます。これを繰り返して淡い色から濃い色の花を作ります。加える染料や、染料を追加して浸け込む時間を変えることで色々な色目を楽しむことが出来ます。

【例】“一液くん” 薔薇用無色とオリジナル染料“京の華化粧” 紅梅色で薔薇をピンク 3色のグラデーションに着色しました。



① 無色の一液くんに純白色を加え、1滴の紅梅色を追加して薔薇3輪を加工しました。写真は引き上げ直後です。



② 残液に紅梅色を追加し、①の薔薇3輪のうち2輪を浸し、少し濃いピンクに加工しました。引き上げ直後の色ムラは乾燥するにつれ、自然なイメージになります。



③ ②の残液に紅梅色を加え、②の薔薇2輪のうち1輪を更に濃いピンクに加工しました。写真はピンク3種類の濃度に仕上げた薔薇たちです。

《部分的に着色する方法》 液から引き上げ後、乾燥前に残液の少量を小皿に移しオリジナル染料“京の華化粧”を加え好みの色を作り、筆で花芯・花びらの中心や縁などにアート感覚で着色します。乾燥の度合いによって色の出方が変化します。既成の色に無いオリジナルカラーをお楽しみください。



ピンクのグラデーションに加工した薔薇3輪を筆で着色してみました。左2輪はそれぞれの残液少量に紅梅色を、右1輪は残液少量に紅梅色と真紅色少量を加えて着色しました。花の色よりも濃い色であれば別色でも着色可能です。



花びらと花びらの隙間に綿花を入れて整形しました。いびつな花びらの修正や、咲いたイメージの花びらに変身させるテクニックです。

## \*\*\*\*\* 使用上の注意 \*\*\*\*\*

本品はアルコールを含んでいます。必ず“使用上の注意”をよく読んで正しく使用してください。

- 1、この液体は、植物を加工する液体です。本来の目的以外のご使用はおやめください。使用時は必ず付着すると思われる皮膚を保護してください。また目や手を保護する保護眼鏡・保護手袋もご使用ください。特に目に入った場合は、失明の可能性がありますので、必ず眼科での処置を受けてください。本品は化学物質が成分ですので、未知の危険があります。十分ご注意ください。
- 2、作業は必ず換気の良い場所で行ってください。使用は原則屋外です。特に夏場のエアコンをつけた状態では換気が不十分ですので、窓を開け換気扇等をつけて作業をしてください。液体が気化したものを大量に吸引すると、気分が悪くなったり吐き気がしたりします。この場合は、直ちに作業を止め、新鮮な空気を取り入れて換気をしてください。
- 3、液が皮膚についた時は、石鹸でよく洗ってください。万一、身体に異常が起きた場合は、必ず医師の診断を受けてください。アレルギー体質や被れ等を起こしやすい方は、十分ご注意ください。
- 4、お子様の手の届かない場所に保管してください。直射日光は液体を変質させる場合がありますので、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- 5、本品に入っている染料は、衣類やカーペットに付着すると取れませんので、汚れてよい衣服に着替え、床には新聞紙やシートなどを敷いて作業してください。
- 6、火気厳禁です！ 万一、本品を使用しての事故や身体の異常等がありましても、当社では一切の責任を負いません。使用の際は、自己責任で扱ってください。
- 7、万一の誤飲の際は、必ず医師の診断を受けてください。
- 8、本品は、メチルアルコールが入っています。メチルアルコールを大量に吸引すると危険です。メチルアルコールの詳しいことはMSDSをご参照ください。(Web上の検索サーバーにてワードを“MSDS メタノール”と入力して検索して下さい。わからない場合はご連絡下さい)
- 9、染料は、絶対にお子様の手が届くところには置かないでください。ペットなどの生き物がいる場合も十分ご注意ください。
- 10、ご使用後の廃液は、約20倍位の水と一緒に排水にて流してください。

**成分**《薔薇用・薬物用》 ポリグリコールエーテル・グリコールエーテル・エチルアルコール・メチルアルコール・イソパノール・水分他、染料一部含む

《洋蘭&草花》 ポリグリコールエーテル・グリコールエーテル・エチルアルコール・メチルアルコール・水分他

ご質問等は別紙のQ&Aをご参照ください。

販売店 株式会社 葵

〒472-0017 愛知県知立市新林町新池 38-12

TEL : 0566-81-1919 FAX : 0566-22-9222

<http://alice-aoi.jp> [info@alice-aoi.jp](mailto:info@alice-aoi.jp)

製造元：(株) 佐野

〒615-0052 京都市右京区西院清水町9番地

Tel 075 - 314 - 0044

Fax 075 - 312 - 9334



## “一液くん” “スーパー1液くん” Q&A

**Q1：一液くんとスーパー1液くんの違いは？**

**A1：**その名前の通り、どちらも1つの液でプリザーブドフラワーを作成することが出来ますが、一液くんは薔薇用・葉物用・洋蘭&草花と分かれており、植物にあった液で加工する必要があるのに対し、スーパー1液くんはさまざまな植物を同じ液で加工することが出来ます。特に茎がしっかりと加工できるので葉物の加工に適しています。また、茎を長いまま加工してワイヤリング無しでアレンジすることも出来ますよ。

**Q2：無色の液で加工すると生花そのままの色のプリザーブドフラワーに加工できるのでしょうか？**

**A2：**液に浸けている間に植物の色素が抜けますので、生花そのままの色には加工できません。染料入りまたは無色の液にオリジナル染料“京の華化粧”を加え、生花に似た色に加工することは可能です。白く加工する場合も染料入りの液または無色の液に染料を加えて加工してください。“京の華化粧”は混ぜることも出来ますので、色々な色のプリザーブドフラワーをお楽しみください。

**Q3：白い花を加工する場合はホワイトニング剤での前処理はしなくてもいいのでしょうか？**

**A3：**濃い色に加工する場合は前処理をしなくても構いませんが、比較的色素の強い白い花は、抜け切らない色素が残って少し濁った色になる可能性があります。濃い鮮やかな色や白色または淡い色に加工したい場合は、生花の色にかかわらず必ずホワイトニング剤とホワイトニング剤強化液で前処理をしてください。

**Q4：何回くらい使用可能でしょうか？**

**A4：**加工する植物にもよりますが、一液くんは1回程度、スーパー1液くんはホワイトニング剤とホワイトニング剤強化液で前処理をすることで液の汚れが少なくてすみしますので4回程度使用が可能です。それ以降は長く(1ヶ月~2ヶ月)浸すことによって加工可能です。また花びらの少ない花・花びらの薄い草花・ドライになりやすい花なども作成することが出来ますが、ご自分の工夫と責任でお願いします。

**Q5：密封容器で作成しないといけないのでしょうか？また、密封しないとどうなりますか？**

**A5：**気化の早いアルコールが主成分のため、密封しないと液が蒸発してしまい、美しいプリザーブドフラワーが作れなくなります。また吸引してしまうと気分が悪くなったりすることがありますので注意してください。

**Q6：液に直接触っても大丈夫でしょうか？**

**A6：**安全面を考慮して化学物質のプロ達が一般の排水溝に流せるように作った液ですが、化学物質で構成されており主成分にアルコールが使われていますので、直接触ることはお勧めできません。なるべく皮膚や目に付着しないよう十分注意してください。

**Q7：作成した花の花びらが割れるときがありますが、その場合の対処法を教えてください。**

**A7：**液から引き上げる時に花びらを痛めてしまったり、急激な乾燥で花びらが割れる場合があります。液から花を引き上げる時は、花が傷まない様に丁寧にゆっくりと引き上げて下さい。また、乾燥は時間をかけて自然に乾燥させるほうが綺麗な仕上がりになりますが、強制乾燥の場合は初めの1時間程度自然乾燥させてから「弱」などのモードで徐々に乾燥させるようにしてください。

**Q8：作成した花の形が崩れてしまったのですが、直す方法は？**

**A8：**乾燥の途中で花びらの間に小さくちぎったティッシュや綿花を挟んで形を整えることができます。乾燥後では、その花を加工した残液にもう一度浸けるなどして花を再度湿らせ、半乾燥状態にしてから同様にして形を整えることができます。液に詰め込みすぎたり、花を寝かしたりして乾燥させると形が悪く仕上がります。花が押し合わない程度の液を使って加工し、ティッシュなどで丁寧に包んで花を上に向けて乾燥させてください。また、花びらが散り易い花は乾燥の途中でアートぷりグルーで接着加工することをお勧めします。（アートぷりグルーで接着加工した花は、再度液に浸けると花びらがバラバラになりますので浸け直さないようにしてください。）

**Q9：作成した花が小さくなったのですが？**

**A9：**液に浸けている間に樹液が抜け保存液が浸透するのですが、乾燥後に花の大きさが小さくなる場合があります。種類にもよりますが、特にカーネーションは花びらの根元がまとまり、小さくなる場合が多いようです。アレンジの際に困らないように数輪多めに加工することをお勧めします。

**Q10：プリザーブドフラワーは何年くらい綺麗な状態を保っているのでしょうか？**

**A10：**保存状態にもよりますが、フランスでは10年くらい、高温多湿の日本では3～4年程度とされています。空気中の湿気を吸収して湿気たり、紫外線にあたって色褪せたりしますので、なるべく紫外線の当たらない湿気の少ない場所においてください。アレンジした作品などは出来るだけ乾燥剤と一緒にケースに入れ、長く飾って楽しんでください。

**Q11：一液くんやスーパー1液くんはどのような場所に保管すればよいですか？**

**A11：**どちらも主成分がアルコールですので、直射日光及び高温多湿は厳禁です。出来るだけ直射日光の当たらない火の気のない涼しい場所で保管するようにお願いします。

**Q12：海外の知人に送りたいのですが可能ですか？**

**A12：**送る国によって異なりますので、発送が可能かどうかの確認が必要となります。また、主成分であるアルコールに対応した発送となりますので、お住まいのエリアの発売元までお問い合わせください。

**Q13：説明書に掲載していない植物の作成については？**

**A13：**一液くんの三種類の液については、それぞれの品種に近いもの、もしくは似ている植物の作成が可能です。スーパー1液くんも説明書以外の花や葉の作成が可能です。構造上プリザーブドフラワーに加工しにくい花や葉もあり、どちらの液も完成度がいまひとつの植物もあります。

市販されていない花や葉を加工される場合は、お住まいのエリアの発売元までお問い合わせください。